



擁壁の工事一部完了

幼稚園への上り坂の擁壁(すもも組の下)の工事が予定通り9月12日に終了しました。工事期間中、幸いにも雨の日が少なく、予定通り進んだようです。

今年は東北、北海道を中心に、連続して台風が通過し、多大な被害を与えていましたので、9月早々の台風12号が心配でした。九州に近づくにつれて大型化し、強い雨風の台風と報道されていまして、擁壁工事に支障がないことを願っていたところでした。

台風12号は、幸いなことに、寝床で夢を見ている時間帯に通り過ぎ、日本海に抜けた時点で熱帯低気圧に変わったと報道され、安堵しました。13号も太平洋側を通過し、福岡県には特に問題がなくてほっとしたところです。続けて14号、15号、16号が発生したようで、今後の進路が心配されます。

ご存知のように、擁壁工事は、かつての通園路であったところを壁にしてブロック塀で土止めをしたところでした。その部分が、一番軟弱ということで、ブロック塀を取り壊し、頑丈な岩を基礎として、法面全体に金属のロープを網の目のような形で張り巡らせる工法で工事が終了しました。

数年前まで、子どもたちは、この斜面に生えるたけのこ掘りや斜面を利用した崖上り遊びを繰り返し楽しんだところでした。そのために、斜面が深くえぐられていたので、工事関係の方が、「ネットを張る時に、通常の斜面と違って、深くえぐられているので、どうしてこんなにえぐられているのか」と不思議に思っておられました。

保護者の皆様には、大雨警報が出るたびにご心配をおかけしましたが、これで、大雨、豪雨、地震等の想定される災害に対する備えは大丈夫だと思います。

今後、園舎建築に当たって、耐震の検査があります。園舎は、何度も建て替えられるようなものではありませんから、子どもたちの安全を第一に考え、最終的な安全が確認されるまで、学園に各種の検査・診断の実施を要望しています。耐震診断の実施に当たって、子どもたちの登降園に影響が出るようでしたら、直ぐに、保護者の皆様にご連絡いたします。



上手にキャッチ、ソーメン流し

年中の50数名のお父様方のご協力を得まして、9月3日(土)にソーメン流しを無事に実施することができました。前日まで小雨が降り、当日の天気を心配しましたが、当日は曇り空で、楽しく活動ができました。当日予定していた、お父様方の竹の切り出しと運搬を、前日に職員作業で行い、当日、お父様方には、6本の竹をそれぞれ7.5mに切り、竹を縦に割る作業とソーメンを流す作業をしていただきました。竹の節を取る作業は、お父様方と年中力は小さくても、大勢の力を寄せ集めると、大きな力になることを示す場面でもありました。一般の家庭では、長い竹を使ってのソーメン流しは、なかなか経験できませんから、参加されたお父様方も楽しく作業をされました。



子どもたちは、竹を通して流れてくるソーメンが珍しいのか、夢中になってすくっていました。お父様方の支援もあって、年少さんは、やっと使い慣れたばかりの箸を上手に使うソーメンをすくい、モリモリ食べました。食欲の秘訣は、職員による手作りの出汁が、市販のめんつゆよりも旨味があったことです。これが、子どもの食欲を倍増したようです。子どもたちから、「つゆが旨い」との声があがり、お椀に残った出汁を「先生、飲んでもいい?」「いいよ。」

年中さんの中には、食べることもよりも、流れてくるソーメンをすくうのを楽しむ子もいて、お椀いっぱいすくって、「園長先生、もう食べれません。」

年長さんは、大人顔負けに食べますね。感心しました。めんつゆが旨い上に、のど越しのよいソーメンですから、結構な量を食べていました。13回おかわり

したと自慢する年長さんもいました。みんなが美味しく食べるので、早く食べたいなあと考えたのは、私だけではなかったと思います。

保護者の皆様には、この行事のためにたくさんの食材をご提供いただきまして誠にありがとうございました。来年もよろしくお祈りいたします。